

刊夕日七月十

常磐每日新聞

定価一紙五銭六分(税別) 五紙二十五銭(税別) 一月七角五分(税別) 三月二角二分(税別) 半年一元二角五分(税別) 一年二元五角(税別)

発行所 常磐毎日新聞社 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

或る日の會話 (十)

眞 繼 雲 山

凡夫 舞臺が一つで、それを楽しいと體驗するものが極樂の住人、苦しいと眺めるものが地獄の住人だとして見ると、別に繪に書いたやうな地獄極樂が何處かの他國にある譯ではないのですか

佛 世界といふは十方を盡くして無碍無際ちやが山川自体に是非善惡といふものはない、従つてこゝは地獄、かしこは極樂といふ區別はない、苦樂といふは、その山川を依り處としてある有情の所感に外ならんのおやから地獄極樂といふもこなたの心の問題ぢや

凡 土地そのものに地獄極樂はなく、それを眺むる心の話ぢやと申されましても、矢はり百花爛漫七寶樓閣、八功德水なくてふ處があれば誰だつて樂しいでせうし、針の山、血の池なんていふのは矢つぱり地ごくの有様ではないのですか

佛 アハ、ハ、ハ、心が無ければ苦樂はない、苦樂が無ければ地ごくも極樂も無いからのう

凡 心があるから地ごく極

樂の別が出来ると申されましても、火事は誰が見ても、いやであり、花園は誰が歩いてても樂しいではないですか

佛 さうぢや一切は元々花園ぢや、極樂なんぢや、それをお前たちが地ごくと思つてゐるんぢや、火事は誰が見ても、むごたらしい地ごくのすがたといふであらうが、あれでも絶海の孤島に一大火焔が天に沖して見物人に損徳は無いとなつたら皆な一樣に拍手喝采するぢや、又事實それが一大藝術としての壯觀ではないのか、敵陣の焔火洞然たるを見ては、お前たちも欣舞雀躍するぢやらうたとへて見ればまアそんな譯さ

凡 成る程さういふ氣もします

佛 そこで地ごく極樂といふのは苦樂の兩邊ぢやがその中間に小地ごく小極樂といふのもある、その觀法を大別すれば十界となる細別すれば一念にも三千のすがたが宿る、その心を掃ふて仕舞へば苦樂共に無い、カラリとし

綴り方

姉さんの病氣

河野 和 平

姉ちゃんはこの間から風邪をひいてゐる、僕は學校に來ても、姉ちゃんのことから心配でたまらない、學校から歸ると、なにより先に姉ちゃんのことを聞く、すると母ちゃん「あ、ゆふべよりはよつぽどいゝよ」といふ、七年間も學校を休んだ事のない姉ちゃんを風邪の爲に休ませたお母さんは元氣なくしほれてゐる。姉ちゃんの枕もとに行つて「姉ちゃんもう、よつぽどいゝの」と聞くと「うんよつぽどいゝの」と力なく答へる「なんか食ひたくない」「まづくて」「くひたくない」「うん」「あ、わいさん本を讀んでおくれ」「うん

に「こんど買った少年俱樂部部を」「うん、今持つてくるよ」として本を讀んでゐる中に、姉ちゃんはすやくねむつてしまつた。お母さんは心配して「どうしたの」ときく「あ、なんでもないんだよ、姉ちゃんかねちまつたの」と僕は返事をした、夕方になると市原病院に薬をとりに行きます、枕下にはバインアップル、ドロップがある、これは母ちゃんや、お祖母さんが買つてくれたのだ、僕は何も買つてやれないから、姉ちゃんの病氣が早くなほるやうに神様にいのつてゐる。

融金替爲・債公・券債

多田井質店

町工大町平
番一九五話電

上田 外科醫院
平町 南町
電話二一九番

貸切は●●●

セダン揃ひで!

貸切専門の!

昭和タクシー

電話三四三

時計

召すなら

タイラの

精幸堂

常に信用と責任ある良品廉價



向店車動自チクキ路小槌搦町平

開店一週年記念

謝恩抽籤附大賣出し

◎期間 十月一日より八日迄

◎方法 御買上高五圓毎に抽籤券一本進呈

何卒此の機を逸せず御買上の程お勧め致します

一等	五割引	二人
二等	四割引	一人
三等	二割引	二人
四等	一割引	一人

【金五圓に對し】

全部空籤なし(但買切れ次第切)

其他金額の多少に不拘御買上の方には記念品を差上げます

山崎時計店

平町五丁目新川町通り
吉田屋染物店向ヒ

平新川町十九

木村病院

電話一六四番

産科 院長 木村寅次郎

婦人科 醫學士 松永憲一

内臓外科 醫學士 松永憲一

整形外科 醫學士 松永憲一

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番

平町に新名所 菅澤開道の句碑

巖谷小波氏の達筆に 馬も来ぬ昔を語れ萩の花

平町菅之澤開鑿功勞者の功績を永久に傳へんとする記念碑は安藤子爵の篆額、巖谷小波氏の撰文既に出來て目下古鍛冶町永山材木店傍らに急造した作業場にて碑面への彫刻を日夜急いで居るが更らに開道現場に當時を偲ぶ句碑を建てんと巖谷小波氏に發句揮毫を委囑せる處本日「馬も来ぬ昔を語れ萩の花」と墨痕鮮やかに匂ふ揮毫唐紙到着直ちにこれを御影の自然石に刻み付ける事となつたが同句碑の建つ事に依つて菅澤の切通しは平町に一名所を加へる事になるであらうと囑目されて居る。

小作爭議は平穩か

地主對小作の利害顛倒 收穫期に入り注目さる

殆んど年中行事の一つとして騒がれてゐた石城郡玉川村方面の小作爭議は愈々收穫期に入つてゐるので其筋では早くも警戒中であるが

色彩美と感情

秋の自然からの 新しいプレゼント

秋の自然からの 新しいプレゼント

秋十月の「自然」が幽かにほゝんで街の人々へプレゼントする美しい色彩の数々——その一つ一つが暗示する感情はおよそ近代人の神経を過敏にする

秋とみちが——我々はこの明朗さに遙かな投げキッスをあたへる、人間が色彩から受ける作用はヤングの

るまいと一般の観測であるが地主對小作者の利害は最近その位置が従来と顛倒した形に置かれてゐるのは注目しに値ひする現象であらうと

勇敢なる行動は 感謝の念禁じ難し

諸君の武運長久を祈る

山崎聯合分會長より 在滿兵へ慰問狀發送

石城在郷軍人聯合分會長山崎清三氏の名を以つて此程同郡出身在滿兵に左記の如き慰問狀を送つた

渺茫千里の大滿洲を眺めたる時將た感慨無量のもの有之べしと奉存候、當石城郡聯合分會は今春評議會に於て決議をなし聊か滿洲駐劄の諸君を御慰問申上る

内郷青年競技 石城郡内郷村青年團では十五日午前八時から同村高坂小學校庭に於いて秋期運動會を行ふ

上るまでもなく我國は滿洲地方に於て我國國民の生存と緊切なる關係あり權利利益を享有するものに有之日支兩國互に相侵さず相陥れず双方並行して共存共榮を全うする事を基礎的主義とするものに有之候も國境相隣接する關係上支那側の無誠意は動もすれば互に對峙し又屢々不快なる出來事の發生する事多きは平素深慮能は候處去十八日夜半支那軍の滿鐵橋樑爆破に端を發し

我軍の自衛權の發動

となり滿蒙の天地風雲益々急遽に滿洲事變を惹起するに至り候時恰も此危機に相會し大任を負つて立てる諸君の勇敢なる行動は國を擧げて敬慕と感謝の念禁じ難きものに有之候諸君が其の日々の奮闘の状況は或は新聞に又はラデオに手に取る如く判明し血湧き血躍るの感致候、今や日本は一齊に立つて滿蒙に於ける我特種權益を擁護し更に一段の光彩を發揮せしむべき時機に相會し候今回の滿洲事變は我傳統的隣保愛の國民性と國家の適切なる政策とは相俟て近く適當圓滿なる

解決の途を講じ得らるべしと存候共駐劄の大任に當らる、諸君の努力如何は直ちに其の結果に重大なる關係を及す事に有之候間一層國家のため御奮闘被遊益々國威を宣揚せらる、事に御努力あらん事奉希上候

今日話の題

日本でも近頃拳闘が凄じい勢で流行り出したが本場のアメリカになると遠かに素晴らしいものがある、市俄古のソルジャー・ス・フィロドで行はれた世界重量選手權爭奪戰シエンタニー對ジャック・デムブシーの試合で勝つた水兵上がりのタニーの懐へ轉げ込んだ金が百九十九萬六千圓であつた。一回三分間一分間休息だから、殿り合つた時間は正味三十分間として一分間の所得が驚く勿れ六萬六千五百圓餘り、更に一秒間に計算すると時計の針がチツと云ふ一瞬間一千九百圓と云ふ譯で三千圓の債券に當つて氣が狂つたなど云ふ日本とは一寸桁が違つて來る。

縣補助陳情 昨日出縣す

先年來運動中の石城郡豊間漁港修築工事は縣費多端の爲め未だに縣補助の交付を得ないので關係者は野崎、萩原兩縣議、若松前縣議等の案内で昨六日午前出縣し川崎知事と會見、明年度縣豫算に補助計上の陳情をなし同日歸村した

川部村民が皮切り

養蠶實行組合 今後續出

養蠶組合石城部會では豫てより今回發布せられた新蠶糸業法により郡下各町村の養蠶組合を財團法人の養蠶實行組合となすべく研究中であつたが従來各組の土

石城蠶取引狀況

四倉繭市場(十月三日)
(白繭)一七一四貫(最高)
三圓十二錢(最低)二圓六十六錢(馴)二圓八十八錢

平町人事

出 生
△久保町三四 松本留之助氏五男政美
△堤ノ内二五 小木勝治郎氏長男信司

死 亡
△田町七〇 佐藤タマ(六八)

實驗用の藥品を沈み

女生徒が自殺を圖る

高坂校で極秘裡に處置

裏面には複雑した事情

石城郡内郷村大字町田末長吉五郎次女ヨシ(一七)は同村高坂小學校高等科に通學してゐるが去る二日午後二時頃學校内にて理科

實驗用の硫酸ナトリウムを多量嚥下し顔面蒼白となつて昏倒したので同校では大騒ぎとなり直ちに附近の醫院に收容應急手當を加へたので生命は漸やく取止めたがヨシは最近毎日物思ひに沈んで友達などからも遠去かつてゐた爲め原因は殆んど判明せず殊に學校當局は極秘に附してゐたので本日まで世間に洩れなかつたものであるが嚥下した硫酸ナトリウムはその

出獄後八月頃から茨城及石城郡地方を股に掛けて窃盜専門に働き本月一日湊署員に取押されたが茨城地方の犯罪は數十件に及び取調後平署に押送されたものであるが平署の取調では八月頃小名濱海水浴場無料脱衣場其他より窃盜二十數件に及び自轉車五臺等あり被害約三百圓に達して居るが同人は常に此等贓品を現金としては石城郡湯本町三函飲食店婦吉山ツネ(三三)に入れあげて居たものであると

美術の秋訪れて

エツクス會展と美友展

十七日から三日間

街のシーズンへ登場する秋の美術はX會展や美友會展によつて始まる一それらの會員はこの地方唯一の展覽會を目ざして早くより製作にいそしんでゐたが愈々来る十七、八、九の三日間に亘り兩展覽會は華々しく開かれる

平美友會展 第十二回

回美友會展覽會は来る十七、八、九の三日間平町マルトモ樓上に開催される

線路面龜裂

傾城山トンネル

昨日再調査

常磐線線路本間の傾城山トンネルの龜裂は既に同トンネルを中斷し半分にしても尙不安状態を去らずまたもや線路面に三箇所の危険地点を生じたので昨六日東京鐵道局村松改良課長田中水戸運輸事務所長一行來山し實地踏査した

職工休業

賃銀が安いからと

石城郡赤井村堅田銀次郎氏經營の磐城耐火煉瓦工場從

業員十三名は昨六日から突如就業を見合せ退場したが休業の理由は幾ら働いても賃銀が安く到底生活が出来ないからといふのであるが經營者側では突然の休業に驚き目下對策を講じてゐる

磐城女子作品展

音學會開催 磐城高

校では來月二十二日午前九時から同校生徒の裁縫、圖書、習字等の成績品展覽會を開き一般父兄の觀覽に供する筈であるが同日午後からは音學會を開催すると

大内氏磐城へ

高等女學校書記は欠員中で

着衣のまゝ飛込み

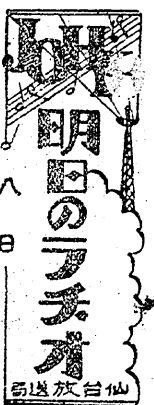
子供二名救助

深さ廿尺の好間川で流れゆく木片の誘惑

石城郡好間村大字中好間宇石坂一六、猪狩朝重七男榮(四七)は二日午前十一時頃隣家の鈴木金次郎孫頑次郎(五七)及び同人兄廣光(七七)の三名と

自宅裏を

流れる好間川の堰上で遊んで居た際榮と頑次郎の兩名は流れて來た木片を拾はんとして深さ二十尺の河中に墜落押流されて溺死せんとするを廣光が發見大聲を擧げ助を求めたのを草刈の爲め通合した同村大字下好間宇叶田一二九遠藤利彦(五〇)が着衣のまま河中に飛び込み兩名を救助した事



報機氣天
今晩も明日も北東の風曇り小雨模様

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間)「燐寸の出来るまで」橋本爲次

後六、三〇 英語講座「初等科」十一 岡倉由三郎

後七、三〇 講演「國際運輸労働組合聯盟 I K F の組織及其の使命」エド・フインマン

後八、〇〇 放送舞臺劇「豪華」毛刷「市川三升一座」

後八、四〇 小唄「主さん」其他 堀小満孝

あつたが此程大内秀次郎氏が任命された

明日の部

前九、一〇 料理献立「鮭の菊蒸しあんかけ」

前一〇、三〇 家庭講座「衣服調整及整理に就て」

後〇、〇五 掛合嘶「喰はずの平作」橋一圓 同圓十郎

牛馬屠殺統計 平町立町の屠殺統計に於ける前月中の屠殺統計を見ると食用の大半を占むる牛豚共に前々月より一頭乃至十頭の減数を現して居るが世智からい現今には牛豚、等の食用者が少なく安價な野菜、海魚等とその食嗜が移つたものであると同町の屠殺數左の如くである

△牛五頭 △豚九四頭 △馬一九頭 計一一八頭

淋れゆく人力車

自動車に壓倒されて

平署では本日午前九時より人力車々々検査を署庭にて行つたが本日集つた平町の人力車は廿五臺で正午迄に備付品の不完全なのが二三有つたのみで終了したが乗合自動車の發達に連れ影を消して行く人力車は車体検査毎に一臺二臺と減少しつゝあつて係官も嘗ては平町に居た百數十臺の人力車に多忙な検査をしたを思ふと隔世の思ひである

火災豫防藥實演

平町白銀町の東北セロン商會では今回同商會より販賣する火災豫防藥たる「セロン」を宣傳中であるが本日午後一時から舊平商業校庭

懸賞金

ル號が太平洋の處女空を征服して見事横斷に成功したと聞いた街のアンチヤン連翼長一間もある模型飛行機を飛ばして「誰か懸賞金を出してくれ、ば俺だつて夏井川の處女空ぐらいはね」だとサ

御用命は印刷物の總代理
常磐毎日印刷株式會社
電話三六〇番

小説



【載轉禁】

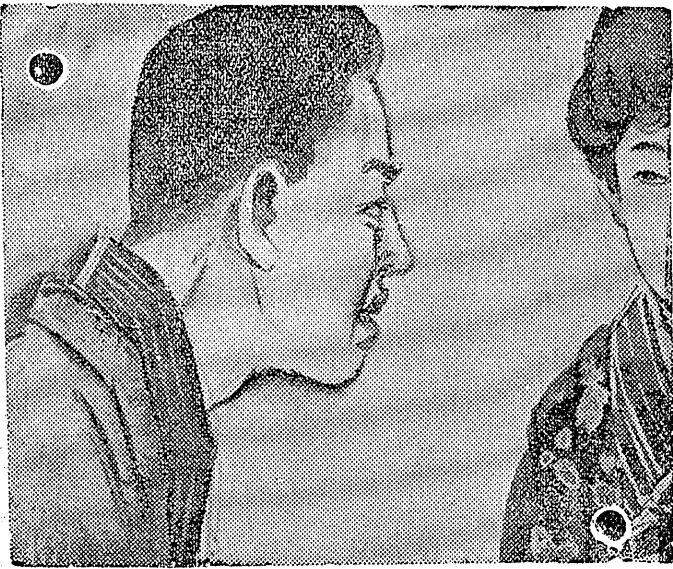
渡邊黙禪作
布施平八郎畫

影法師 (3)

と頼る平氣にニツコリと笑つた、が、それは殊更に心の餘裕を見せようとする作笑ひであるかのやうに極めて不自然なものであつた『併し究すれば通ずるといふこともございますから、最うこゝまで思ひ切つてドン底に落ちたんでございませうから以上は落ちやうはありませぬ、是からは浮き揚る一方です、浮き揚つて貫はなけりや我々までが全くのこと半死半生の苦痛でございませぬ、幸ひ川島さんといふ手腕家も居りますことですから何んとかこのところ大に挽回策を講じて立直しをやつて下さるでせうまア、それが唯一の望みでございませぬ、そのおつもりで暫くのところ御辛抱下さるやうにと川島さんからの傳言でございませぬ』

『川島があるから大丈夫よ今日だつて私にね、事に依ると此處一兩日中に突然襲はれるかも知れないから早く手廻りの大切な物だけ持出して磯子へ行つてたらよからうつて秘密にさう注意して呉れたもんだからね、大急ぎで此方へ逃出して來

かから一枚の銀行切手を出した
『奥さん、ちやうどこゝに一萬圓だけ持参しました、横濱の川崎支店拂ひになつてゐますから、いつでもお引出し下さいませ』
『あら、一萬圓！』
『奥さんは小供らしい喜びの叫をあげた、そして其の小切手をとつてちよつと目を流した時に晴やかな北叟笑が薄化粧の顔にゆらいた
『よくそんななかから都合してくれてね、どうも有難うよ』



推薦で十文字の家に入つて來たんだもの、こんな時は誠意を見せてくれなくつちやあねえ、それからあの川島から何ぞ届物がなくつて？有つたでせう』
『御座いました、實はそれを差上げるために態々出てまゐつたのです』
高野は手提鞆をあけてな

いぢやないのそんな取込中に……いゝろないやなことを聞かされるだけでも苦痛よ、私は神経質だからね直と病氣になるわ』
『大きに……病氣と云へば奥さん主人は今日卒倒なさいましたよ』
『え、卒倒？』
『さすがに愕いてさうして』
『つまり突然に執達吏なんかに見舞はれたもんですから、ハツと思ひなすつたのでせう、急に何んでも御氣分が不快おんなさいました……』
『へえ、それで、どんな様子』
『松本先生をお招き申しまして診て戴きましたら、脳だといふことでした、なに大した事でもない様子で』

時計眼鏡

トキワヤ
平一・電三三九

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

梅毒 淋病
皮膚病 婦人病 腸胃病 腸虫病
門專
十二指
院醫科 村松
七〇一話電 町南平

吉田眼科病院
平紺屋町、電話六八番

時計の「**修繕なら……半額**」
平驛前通り **星野時計店**へ
◇時計、眼鏡廉賣店
◇硝子入無料券進呈

冬の通學服
當店特製の黒小倉通學服を豊富に取揃へて御座います。
長ツボン付
小學生用……・85錢ヨリ
同(特製品)……1・90錢ヨリ
中學生用……2・80錢ヨリ
なかや洋服店 平二電203

切斷の苦しみなく……
靈藥ムテキ
梅毒、きりきり、やけど、淋病、くさ、りうまらす、乳はれ、其他化膿するもの一切
發賣元 **阿康藥舖**
縣社下古銀治町(電話四四番)
*國製藥(無臭)レメドール(ヤケド、ヒビ、其有偽物 要注意)レメドール(他ヒフ病一切ス) (ゲキク効力本位) 丹波博士創製 セキトメ たんばあめ がヨクトマル

井の**手切商品**
番八 三二 平三電

毛糸と編物用具……
全部新色 三二
入荷致しました
相變らず御用命の程……
平田町 **ハシモトヤ** 糸店